

はじめよう



奈良養生訓

大切な人に、あなたの思いを届ける時間

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります、命の危険が迫った状態になると、実は約**70%**の方が

医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。



そこで考えておきたいのが /

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) = 人生会議

人生の最期まで自分らしく暮らし続けるために、あなたが望む生き方や医療・ケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと。



専門家のご意見

高齢化や核家族化が進む中で、家族や身近な人と「人生の最期」について話す機会は少なくなっています。医療や介護の実際の現場では、事前にしっかり話し合っている人ほど、本人やまわりの人も、納得のいく形でその人らしい時間を過ごされていると感じます。もし急な病気やけが、長期の介護が必要になったとき、「どんな医療を受けたいか」「どこで過ごしたいか」を前もって話しておくことはとても大切です。いざという時には、意識がなかったり、認知症が進んでいたりして、本人の本当の気持ちがわからないことがあります。医療や介護だけでなく、「自分にとって何が大切か」「どう生きたいか」を話してみてください。ちょっと話しにくい話題かもしれませんが、“その人らしく、あなたらしく生きる”ためにとても大切なことです。ぜひ、ご家族や大切な人と「人生会議」をしてみてください。



奈良県立医科大学
総合医療学講座
吉本 清巳さん



ACP(人生会議)について詳しく知りたい方は
厚生労働省HPIにも情報が掲載されています。

ACP 人生会議 検索



県地域医療連携課
県地域包括支援課
県介護保険課

☎0742-27-8676
☎0742-27-8540
☎0570-009-006

FAX 0742-22-2725
FAX 0742-26-1015
FAX 0742-27-3075